



# “あなたの買い物応援し隊” 移動購買車、あじまあ号が行く!

(株)JAおきなわAコープに移動購買車を寄贈 ~JA共済連 沖縄県本部~

JA共済連では共済事業とともに、組合員・地域住民のみなさまが安心して暮らせる地域社会を目指し、地域貢献活動に取り組んでいます。さらに各都道府県本部では、地域の特性を活かした独自の地域貢献に積極的に取り組んでいます。今回は、10月号から3回にわたり様々な特徴のある活動をご紹介します企画の最終回です。



「今日は〇〇を持ってきて」と電話が鳴ることも



食品はもちろん、ヒラウコー（沖縄線香）や洗剤、殺虫剤まで取り揃えている



おじいちゃんとお孫さんも仲良くお買い物

あじまあ号  
だいすき!

古謝さんと話すのも楽しみのひとつ

自然と笑顔がこぼれます

**買い物支援する  
あじまあ号が発進!**

（株）JAおきなわAコープでは、「買い物困難地域の拡大にとめない、「買い物弱者」への食料品や日用雑貨の供給対策として、平成二十八年度から移動購買車をスタート。実施にあたって、JAおきなわでは5年間の運営費用の支援を決定。JA共済連沖縄県本部は3台の移動購買車を寄贈するなど、（株）JAおきなわAコープが実施する移動購買車を通じて地域の方の生活を支援しています。

買い物弱者とは歩ける範囲に店がなく、食品など日常の買い物に困っている人たちのこと。近年は交通条件の悪い地域だけでなく、商店街の消失や人口減少の影響などから大都市圏でも増えています。JAおきなわ生活事業本部の野辺憲也次長は「移動購買車は多くの方々が必要とされながらも採算を取るのが難しい事業です。当初、車両はリースで計画していましたが、JA共済連に移動購買車を寄贈していただき、とても助かりました」と話します。

移動購買車の名前は、沖縄の方言で「差点」を意味する「あじまあ号」。Aコープの安全安心な商品を届けるだけでなく、近隣住民のコミュニケーションの場や一人暮らしのお年寄りの安否確認など、まさに人や物、情報が集まる地域の交差点として、JAグループが大切にしている地域に根ざした活動に貢献しています。



冷蔵庫には刺身やテレビチなどの新鮮な食材がずらり。Aコープ店舗の販売価格と同額で提供

**免許証自主返納にも  
つながる取り組み**

沖縄本島から南西約三百kmに位置する宮古島には「あじまあ二号」が寄贈され、専任ドライバーの古謝明裕さんが、城辺地区の計二十五か所の停車ポイントを月曜から金曜にかけて回っています。公民館や個人宅など、きめ細やかな配達が高い評判を呼んでいます。

七又集落に住む八十代の女性は、「これまで二時間に一本しかないバスで買い物に行ってたから大変だったよ。だから古謝さんは私のアイドル。ありがたいね」と、豚ソーキ肉やゆし豆腐、サーターアンダギー、ミックスなどをまとめ買いしていました。

砂川隆光さん（87）は「あじまあ号」が回るようになったため、免許証の自主返納に踏み切りました。「万一、事故があったら大変だからね。ここでみんなとおしゃべりしながらあじまあ号を待っているのも楽しいさあ」と、明るいほほ笑みを向けます。

移動購買車は、深刻な社会問題になってきている高齢ドライバーの事故を減らし、免許証の自主返納につながる取り組みとしても、さらなる地域の期待を背負って走ります。

## 住民のニーズを捉えて売り上げ好調!



軽トラックに冷蔵庫やスピーカーを設置した「あじまあ号」のキャッチフレーズは「あなたの買い物応援し隊」。陳列棚には、青果や総菜、日用雑貨など約400品目がぎっしりと並び、細かいニーズにも対応できる豊富な品揃えです。1日の利用者は約30名ですが、1日の売り上げは約6万円と当初の見込みを大きく上回る実績を上げています。

七又公民館前ではお客さんが会話をしながら到着を楽しみに待っている(右)



**くらしを  
支える  
チカラに  
なりたい!**



この仕事で一番頭を使うのは品揃えですね。限られたスペースを有効活用するのはもちろん、たくさん会話をしてどんなものが必要なのかをつかむように心がけています。小さなニーズでもしっかりと対応してあげたいので、「アイス持ってきて」というような注文にもできるだけ応えるようにしているんですよ。(笑)

いつも来るおばあが顔を見せない、気になって自宅を訪ねたり、台風の時「大丈夫かな?」と心配になったりします。車を走らせていると、子どもたちが「あじまあ号のおじいちゃん!」と手を振ってくれるのもうれいですね。

いまや宮古島の有名人、古謝さん



写真左からJAおきなわ生活事業本部の野辺憲也次長、Aコープ城辺店の店長の砂川勝栄さん、古謝明裕さん

